



くらもとたかふみ
藏本隆文議員

市民病院改革、 広域連携の検討を

議員 市民病院の建て替え地はどこか。機能及び医療レベルや開院時間はどうか考えているのか。

市長 優先的に進める事業として、来年度から基本計画に着手する。開院時間は現状を基本と考える。

議員 医師確保が出来なければ、経営状態の改善は望めない。医師確保の見込みはあるのか。

市長 精一杯尽力していく。岡大病院だけでなく、広く募集する。

議員 笠岡地区消防組合である浅口市、里庄町と2市1町での建て替えを考えられないか。市の負担軽減、診療科の充実、医師確保も3自治体でのほうが効果的ではないのか。



市長 笠岡市単独を予定している。

提案します！ 存続できるまちづくり

議員 ①全体会議や、ブロック会議は行わないのか。

②情報共有・発信の手段として、全協議会にホームページを開設してはどうか。

③分野ごとの、補助金メニューを提示してはどうか。

④協議会に対して、市の情報を説明する必要があるのでは。

⑤協議会の法人格も必要では。

政策部長 会議方法、ホームページや補助金のメニューについては地域と話し合っただんどん進めたい。法人格については、取れる可能性を考えている。



みたに わたる
三谷 渡議員

公共施設や防犯灯等照明設備の LED化で明るいまちへ

議員 地球温暖化防止に向けた本市の省電力、省エネの取り組み、また公共施設や防犯灯等のLED化に向けた進捗状況と今後の取り組みについてたずねる。

市長 共同で実践する地球温暖化防止の推進、省資源、省エネルギーの推進、新エネルギー活用への推進を三つの柱として取り組んでいる。

また、防犯灯について笠岡市内約3000灯のうち1398灯LED照明が設置されており、順次LED化を行っている。

一方、公共施設については、進んでないのが現状で、今後、地球温暖化防止、省エネ対策につながるLED化を積極的、計画的に検討していく。



ニーズに定める放課後児童 クラブの運営を

議員 本年4月から、子ども子育て支援新制度が始まり、対象児童が10歳未満から小学6年生まで拡大された。今後、共働き世帯やひとり親世帯等の放課後児童クラブのニーズは増大すると思われるが、現状の取り組みについてたずねる。

市長 本年4月現在放課後児童クラブ利用者は584人で、増加傾向にある。待機児童が出ないことを第一に施設の改修、既存施設の拡張等も視野に、適切に対応していく。

教育長 放課後児童クラブと小学校、先生と指導員の連携は、教育委員会と子育て支援課で担当は異なるが、子どもに関しては共通であり、しっかりと連携を取っていく。